

博物館ニュース

Oct.

2010-10
山形大学附属博物館

「植物の魅力を訪ねて」 公開講座開催(10月16, 23, 30日)

十月十六日、二十三日、三十日の三日間にわたって、博物館主宰公開講座を行なっています。「植物の魅力をたずねて」は、理学部の横山潤教授、また仙台市野草園の上野雄規氏による、山形県内で見られる植生の種類や特徴についての講座です。実際の植物に触れる体験も重視し、一日目は西蔵王の山形市野草園にて開催、二回目は小白川キャンパス内での講義ののち、同時開催の特別展にて横山先生にギャラリートークを開いていただきました。

例年の人文系の講座とは一味違った内容でしたが、十七名の皆様にご参加頂きました。先生方、受講者の皆様の熱意によって、大変内容の濃い三日間となりました。

公開講座 2010.10.16@野草園



公開講座 2010.10.23@小白川図書館シアタールーム

植物の魅力を訪ねてく山形の植物さく葉標本展
十一月二日(火)まで開催中！

小白川図書館二階閲覧室を会場に現在、山形県の山岳地帯で採集された高山植物のさく葉標本を展示した展覧会を開催しています。

山形県は二千メートルを越す山岳地帯を有しています。さらには緯度が高く、日本海に面しているため多雪であるといった環境要因も合わさり、鳥海山、月山、蔵王、飯豊、朝日など、それぞれの山々に一種独特の植生が育まれることとなりました。本展覧会では県内の山岳地帯に生育する特徴的な高山植物のさく葉標本(＝押し葉標本。実物を脱水処理し、標本資料化したもの)を山岳帯毎に展示し、高山植物の写真と合わせて、山形県の植生的一端をご紹介します。中には現在絶滅したと考えられる植物、特殊な自生環境の下に両種が出会って生まれた交雑種など、珍しい資料も展示しています。見なきゃ損？

普段の世界では目にする事のない、貴重な高山植物の世界に、キャンパス内で触れてみませんか。

